

令和6年度 福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校入学式 校長式辞

東北に春を告げる広野町の桜も花開き、暖かな春を感じさせるこの佳き日に、国や県、そして双葉郡八町村を始め、たくさんのご来賓の皆様と保護者の方々のご臨席を賜り、令和六年度入学式を挙行できますことは、真に喜ばしい限りであり、皆様に深く感謝申し上げます。

ただ今、入学許可しました中学校六期生、高等学校十期生の新入生諸君、入学おめでとう。そして、ようこそふたば未来学園へ。君たちの入学を歓迎しますとともに、本日まで、お子様を暖かく見守り育ててこられた保護者の皆様に、心からお祝いを申し上げます。

君たちが入学したふたば未来学園は、中学一年生が生まれる前に発生した東日本大震災からの教育復興のシンボルとして、たくさんのご支援を受け、多くの期待を背負い、現在休校中の五つの高等学校の伝統を受け継いで開校しました。地域や世界で活躍する人材を育成するため、中高六年間を通して学ぶ中高一貫教育や三つの系列から選んで学ぶ総合学科教育、地域や世界の課題を探究する未来創造型教育や海外研修を取り入れたグローバル教育、そしてトップアスリートを育成するビクトリープログラムなど、他にはない特色ある教育活動を行っています。教育環境についても極めて充実し、県内随一の設備を誇る新しい校舎や国内外の多様な連携機関、全県から集まったたくさんの教職員など、他校を圧倒しています。

また、令和六年度は学園開校十年目の節目であり、奇しくも静岡県の三島長陵校舎で学ぶ生徒が福島県に帰還し、六年前に開校した併設中学校の生徒が高校三年まで揃って在籍する、ふたば未来学園の完成年度に当たります。この記念すべき年に入学した君たちには、恵まれた環境の中で、自立・協働・創造の理念の下、「変革者たれ」の建学の精神を実現すべく、充実した学校生活を送ってほしいと思います。

さて、本校では令和六年度の重点目標として、「感謝と挑戦の気持ちを育む教育」、「すべての生徒の進路希望の実現」、「安心して学べるきめ細かな指導」の三点を掲げました。これらを踏まえて、君たちに学校生活で心掛けてほしいことを話します。

まず、感謝と挑戦について、君たちには、今日こうして入学できたのは、勉強や部活動を続けてこれたのは、ふたば未来学園に恵まれた教育環境があるのは何故かを考えてほしい。自分の力だけでなく、支えてくれた家族や仲間、本校で学ぶ生徒に期待し応援してくれた人々のお陰ではないでしょうか。中国の思想家・孔子の教えをまとめた論語の中に「人の己を知らざるを患えず、人を知らざるを患うるなり」という言葉があり、私は座右の銘としています。周りが自分を分かってくれないことよりも、自分が周囲を理解できないことを悲しむべきだという意味で、自己中心的な考えを転換して、他者を認め感謝する気持ちを大切にしてもらいたい。そして、感謝の気持ちと周囲の期待を力に変えて、いろんなことに挑戦してください。「失敗は成功のもと」と言われるように、失敗を経験して課題を解決する「トライ・アンド・エラー」の繰り返しは、大きな成功に繋がります。君たちには、学校生活の中で多少の失敗を恐れず果敢に挑戦し、成功を掴むプロセスを学んでほしいと思っています。

次に、進路の実現について、君たちには、たくさん失敗と成功の経験を通して自分を理解し、自分の良さや強みに気づき、将来の夢を見つけてもらいたい。その夢は、自分の幸せや家族の幸福、世界平和や具体的な職業でも構いませんし、途中で変わっても構いません。

そして、夢を叶えるために、夢がなければ見つかるように、進学や就職など卒業後の進路希望を定めてください。夢の国ディズニーランドの生みの親ウォルト・ディズニーは自分の人生の経験から、「夢を追い求める勇気があれば、全ての夢は叶う」と話しています。人生百年、夢を叶える時間はたくさんあります。その僅か二割に満たない中高生の時代は、自分探しの時期であり、夢を叶えるために自分を鍛え成長させる時期でもあります。十三年前の震災で避難を余儀なくされたこの地域の生徒たちは、恵まれない環境にあっても夢を叶えるため懸命に学び、進路実現に向け努力したと聞いています。君たちには、学習や探究、部活動など、好きなことや楽しいことはもちろん、苦手なことや辛いことにも積極的に挑み、夢を叶える努力をしっかりと続けてほしいと思っています。

次に、きめ細かな指導について、私たち教職員は、君たちが安心して学ぶことのできる学校づくりに全力で取り組んでいく覚悟です。その上で君たちは、毎日を過ごすこの学校を、誰もが居心地の良い空間としてください。互いの良さを認め合い、自分に磨きをかける学舎には、いじめや暴力などは存在するはずありません。そして、風評被害に苦しんだ福島県で学ぶ者として、ルールやマナーはもちろん、差別や偏見を持たないという暗黙の了解、いわゆる紳士協定を守ってもらいたい。今、世界ではウクライナやパレスチナなど、各地で紛争が続いており、国際社会も対処できない状況です。君たちには、学校生活の中で対立や分断を超えて互いに協働するにはどうすれば良いか、答えのない課題に向き合い、社会を平和へと導く力を磨いてほしいと思っています。

今日から君たちはふたば未来学園中学校・高等学校の一員です。節目の年の入学生として、大いに活躍を期待しています。是非、社会をより良く変えていく変革者となる使命と誇りを持ち、周囲の期待に応えるべく主体的に学び、歴史の浅い本校に新たな伝統を築いてください。時には悩み苦しいこともあると思いますが、青春時代の苦悩は、若者の成長に欠かせない大切な経験として前向きに捉え、この学園で子どもから大人へ、与えられる側から与える側へと変わって行ってほしいと願っています。

保護者の皆様申し上げます。これまでのご労苦と本日の喜びは如何ばかりかと拝察いたします。皆様にとってかけがえのないお子様の教育に、私たち教職員一同、如何なる時も誠意を持って、真摯に取り組んでまいります。家庭と学校が両輪となり、互いに協力し合うことで、相乗効果が生まれると考えていますので、心配事があれば、遠慮なく学校にご相談くださるよう、お願いいたします。

そして、新入生諸君、今日から始まる学校生活に対して、ご家族の方は君たちの成長への期待とともに、不安を抱き、心配していると思います。余計な心配をさせないために、何も言わずに大丈夫とするのではなく、学校からの連絡事項や、学校生活や寮生活の様子などを言葉で丁寧に伝えて、安心させてください。それが中学校・高等学校に通学させてもらう子どもとしての責任です。

以上、新入生全員の学校生活の充実と夢や希望の実現、そして本日ご参会された皆様のご多幸とご健勝を心からお祈りして、式辞といたします。

令和六年四月八日

福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校長 郡司 完